

Mラボ 女子大学生のための働き方フォーラム



就活♡ 女子会

キラキラ 未来が見つかる120分

就職活動の身だしなみで気を付けることは？ 育児中に転職が決まったらどうすればいい？…。女子大学生が就職活動や就職してからキャリア形成に向けて抱いている疑問を、関西で活躍する女性リーダーらに聞く「女子大学生のための働き方フォーラム～就活♡女子会～」(神戸新聞社・ラジオ関西主催、神戸市大学連携支援室共催)が神戸市内で開かれた。就職活動を控えた女子大学生11人が実行委員会を作り、自ら企画、運営に携わることで等身大のプログラムが実現。参加した女子大学生は、女性ならではの仕事の苦労や喜びを味わってきた先輩から多くの学びを得た。



働く女性のこと先輩に聞こう

関西を代表する女性リーダーと車座交流会

関西で活躍する8人の女性リーダーに、女子大学生が直接さまざまな疑問をぶつける「女性リーダーとの車座交流会」。8テーブルに分かれた先輩を7、8人の女子大学生が囲んだ。各テーブルでは率直な質問が相次ぎ、自身が将来働く姿をそれぞれに思い描いていた。

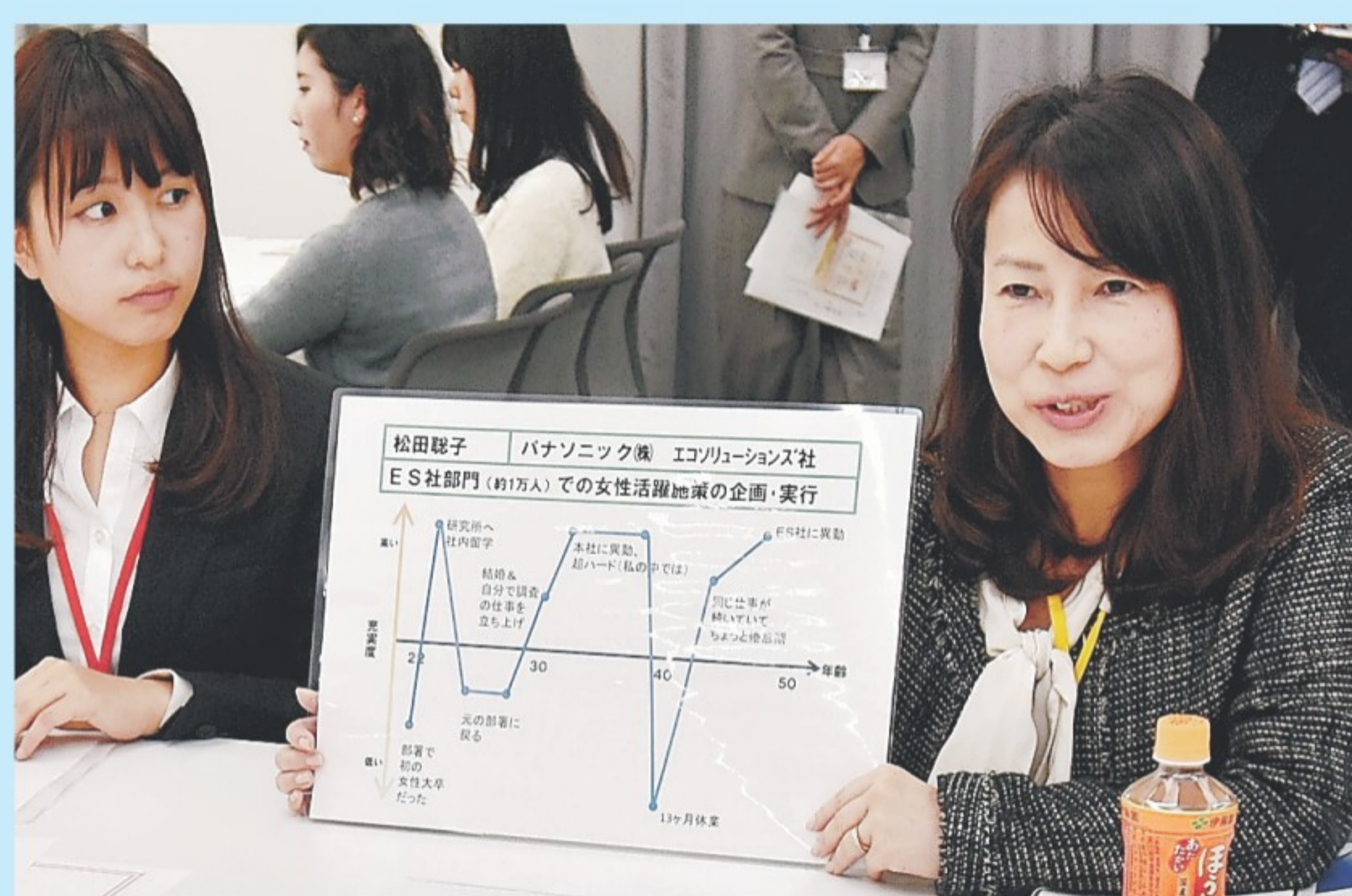
上田さん 目標になる人を探そう

ダイキン工業で17年間働いた後に、子育て中の母親を支援する会社を起業して14年になるマザーネット社長の上田理恵子さん。会社員時代の転機は、会社を超えて子育て中の女性が集まる会に入ったこと。「子育ても仕事も楽しんでいる目標になるべき人(ロールモデル)がそこにいた」と上田さん。「無駄だと思う仕事でも丁寧に」とアドバイスを受けたことで、子育て期に責任ある仕事を外されて落ち込んでいた自分が立ち直るきっかけになった。そうした経験をもとに起業をしたが、「起

業するときに収益をどう考えたのか」との質問には「一人でも困っている人を支える気持ちで事業を続けられれば、お金は後からついてくる」と答えた。34歳のときに専業主婦から父が創業したメーカーの社長に就くことになった昭和精機社長の藤浪芳子さん。着実に事業を発展させてきたこれまでの振り返り「がむしゃらに働く原動力になったのは、当時2人いた子どもを何としてでも食べさせなければいけない、という思いだった」と振り返る。経営者の立場から見ると女性社員について「ま



じめにきっちり仕事をするので安心して仕事を任せられる。だからこそ長く働き続けられるように工夫してきた」。中小企業で働く魅力については「社員の力が直接会社に反映される。ぜひやりがいを感じて働いてほしい」と呼び掛けた。パナソニック役員を今年4月に退任し、現在同社顧問の宮井真千子さんは、食品調理関係の学科を卒業し、商品開発部門を中心に働いた。出産、子育てなどの節目ごとに苦労はあったが「仕事が好きという気持ちさえあれば何でも乗り越えられる」。大企業の特徴については「制度が整っていること。子育て中はベビーシッターの半額補助制度を使い倒した」と笑う。一方で転職はつきもので「それが困ると考える人は、大企業を選ばないほうがいい」とも。大阪労働局雇用均等室長の森實久美子さんは、結婚直後に海外赴任したことを振り返り「もし育児中に転職を命じられた場合にも、子どもも連れて行く、お母さんも連れ



森實さん 長く働く鍵は夫の協力

て行く、子どもを親に預けるなど、無理だと思わずあらゆる方法を考えてほしい」と話した。また、日本では夫の家事時間(1日)が約1時間にとどまっているのに対し、欧米では2～3時間になっていることを紹介。その時間が長いほど女性が会社に働き続ける年数が長く、子どもの数も多いデータを引用し「夫をう

まく教育することが大切」と話した。参加した神戸松蔭女子学院大文学部3年の久宗千夏さんは「先輩の苦労を聞いて、以前と比べて女性が働きやすくなっていることを実感した。女だからということ意識せず、やりたいことを見つけて会社を探し、長く仕事を続けていきたい」と話していた。

宮井さん「仕事が好き」を大切に

交流会講師(敬称略)

マザーネット代表取締役	上田 理恵子
相互タクシー代表取締役	小野 幸親
マロニー代表取締役社長	河内 幸枝
近畿経済産業局 資源エネルギー環境部電力事業課長	児玉 桂子
昭和精機代表取締役社長	藤浪 芳子
パナソニック・エコソリューションズ社 人事センターダイバーシティ推進室長	松田 聡子
パナソニック顧問	宮井 真千子
大阪労働局雇用均等室長	森實 久美子



マロニー代表取締役社長

河内 幸枝さん

私はずっと病弱で、大学も中退せざるを得ないほどだった。その後、結婚して3人の子にも恵まれた。専業主婦だった私が、3人姉妹の長女ということで父の経営する会社に請われて入社したのは40歳のとき。父が創業した会社なので、言われたらやるしかないが、出て、さまざまな仕事に就

私は中国東北部の満州で生まれ育ち、2歳で終戦を迎えた。父はシベリア抑留となったため、母と2人命からがら日本に戻ってきた。1948(昭和23)年は、煮崩れしない春雨を開

「一生懸命」が自分を磨く

講演「和を以てつうんと働き、運と働こう」企業から

発した。当初はまったく売れなかったが、商売をまらやかにやる」という意味の「マロニー」に替え、包装のデザインも工夫し、ラジオCMを打つと売れるようになっていった。私はずっと病弱で、大学も中退せざるを得ないほどだった。その後、結婚して3人の子にも恵まれた。専業主婦だった私が、3人姉妹の長女ということで父の経営する会社に請われて入社したのは40歳のとき。父が創業した会社なので、言われたらやるしかないが、出て、さまざまな仕事に就

くことになると思うが、必ずしも自分が思い描いていた通りの仕事ができるわけではない。でも、どのような仕事にも使命がある。お茶を入れること一つをとっても、何のためにその仕事をやるのかをよく考える。丁寧になれば相手に伝わる。自分も成長できる。「こんなはずではない」仕事で一生懸命することで「こんなはずだった」という仕事に行き着く。私も何も知らない中で目の前にある仕事を一つ一つ丁寧にやることで30年間続けてこられた。皆さんは20歳になっただけで、焦らずコツコツと続けてほしい。



カワノ 住野 有華さん

「仕事内容は、山本 会社は子ども服メーカーで入社する目。広報とプロモーションの業務を担当している。」

住野 「パークレー」などのブランドで靴を作っている。入社3年目。小売り部門でカタログ制作や会員制交流サイト(SNS)ソーシャル・ネットワーキング・サービス(SNS)の運用などの広報活動、ネット販売の運営にも関わっている。

「就活のとき、どのような基準で業界、会社を選んだのか。山本 子にも関する仕事をしたかったと思いついた。長い間働きたいと思っていたので、育児休業制度などについては実際に働いている女性社員の方にも話を聞いた。」

住野 最初は幅広く業界を見ており、絞るまでに時間がかかった。最終的には自分が生かせるようなところはないか、自分が生かせるようになって、順調に進むようになった。就職活動で一番大事だと思ったことは、山本 ネットの情報に頼るだけではなく、そこで働いている人の姿が

自分一人で抱え込まないで 住野さん

先輩に聞く「就活で一番大事なことは？」

山本さん ネット情報だけに頼らない



ファミリア 山本 千尋さん

「就活の身だしなみで気を付けることは、また証明写真で注意点があれば、山本 髪の毛のトーンは落とした。履歴書の写真はやはり「ぱつぱつ」が大事。その意味では入ビッド写真よりプロのカメラマンに撮影してもらった方が明るい表情を引き出してもらえる。」

住野 私は学内で就活用の写真撮影の企画があり、カメラマンに撮ってもらえた。身だしなみでは清潔感を大事にした。自分らしくいることも大切に。髪の毛は真っ黒にまでは染めていなかった。髪は長かったのを束ねていたのだが、母から「後ろ姿が暗い」と言われ、ネイビーの色でピアスがついたジュエジュをプレゼントしてもらった。それを付けると気分も明るくなって愛用した。

見えてくず、それではエントリーシートや志望動機が書けない。実際に社員の方と話す機会に積極的に参加し、OG訪問をして働くイメージをつかむことが大事だ。住野 就職活動を一人で抱え込まないことだ。身近な友人やいろいろな人と話をすることで、自分が何を考えているのか見えてくることがある。

藤浪さん 子育てが大きな原動力



フォーラム実行委の活動

同じ女子大生の目線で準備

「女子大学生のための働き方フォーラム」就活♡女子会」は、当事者である女子大学生の視点で大切にしよう」と女子大学生による「女子大学生のためのイベント」として企画され、県内の大学に通う女子大学生11人で構成する実行委員会が準備を進めてきた。9月以降、毎月1回のペースで実行委を開き、三つの班に分かれ活動を行ってきた。「広報班」ではイベントの周知に向け、各大学の就活ガイダンスでの呼び掛け、フェイスブックをはじめとするSNSを使った情報発信、ラジオ出演などを行ってきた。「デザイン班」はポスターやリーフレットの作成を担当。どうすれば女子大学生の目にとまるかを考え、やさしい色使いや言葉の使い方を考えたという。「演出班」は、フォーラムに参加してもらう女性リーダーとの打ち合わせや、フォーラム当日の進行台本の作成などを担当した。演出班のメンバーの一人、武庫川女子大生活環境学部3年の岸香苗さんは、車座交流会が当初1テーブルで60分間内容だったのを、「できるだけ多くの方の話を聞きたい」と30分ずつ2テーブルに参加できるよう提案し、実現させた。「私たちが自身が当事者だからって参加者の気持ちも分かる。他の就活イベントとは違う内容にできた」と話してい

フォーラム実行委員会メンバー

■関西学院大学商学部	中島 里菜	■神戸大学経営学部	玉谷 佳穂
■神戸松蔭女子学院大学 文学部英語学科	的場 咲乃	■兵庫県立大学 経営学部事業創造学科	渡辺 美沙
■神戸女子大学 家政学部管理栄養士養成 文学部史学科	澤田 つかさ	■武庫川女子大学 生活環境学部	川本 真里奈
	橋本 彩		岸 香苗
	井阪 真実		山崎 結
			小島 知菜実